



学校便り

平成23年 2月25日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

あいさつで一日の始まり

2月に入って正門で子どもたちと校長先生との、あいさつゲームが始まりました。これまでも、子どもたちは朝のあいさつをととても良くしていましたが、そのあいさつの質を高めるため、教室に次のようなポスターをはり、子どもたちによびかけました。すると、次の日から、レベルアップ2の自分からあいさつができる子どもが増えました。あいさつゲームの中身は、正門のところで、校長先生とどちらが先に元気よくあいさつができるかというものです。今のところ、どんどん子どもたちの方が勝ってきていると言うことです。

また、レベルアップ5の立ち止まってあいさつができる子どもも増えてきています。

めざせ!あいさつ名人	
5	立ちどまり えがおと 大きなこえで 自分から あいさつできる子
4	えがおと 大きなこえで 自分から あいさつできる子
3	大きなこえで 自分から あいさつできる子
2	自分から あいさつできる子
1	こえをかけたら あいさつをかせす子



ひろせ 5・7・5

2月から「ひろせ5・7・5」をおこなっています。子どもたちに、「短いことばで気持ちを表してみよう」とよびかけました。

子どもたちは、指を折りながら、5文字・7文字・5文字に気持ちを込めて作っています。初日はなんと150もの作品が集まりました。そして二日目は、320の作品が集まりました。

家族の人との関わりや友だちとの関係、学校生活の中で思ったこと、季節の移り変わりで感じたことなど、ことばで表すことはむずかしくはありません。しかし、5・7・5文字で表すとなると、なかなか簡単にはいかないものです。この取り組みを通して少しでも豊かな感性が育てばと考えています。

集まった作品の中から、優秀な作品を選んで、玄関前の掲示板にはっています。来校された時にはぜひ、ご覧ください。



クラブ活動について

本年度、広瀬小学校では、バドミントン、卓球、スポーツ、まんが・イラスト、手芸、折り紙、クッキング、茶道、囲碁・将棋クラブがありました。年間を通して、4年生から6年生までの子どもたちが活動しました。

その中で、バドミントン、茶道、囲碁・将棋クラブには、地域の方が先生となって指導していただきました。



※茶道クラブ

茶道クラブは、小島さん、岩西さん、囲碁・将棋クラブは杉原さん、石本さん、中尾さん、バドミントンクラブは松下さんに指導していただきました。

どのクラブも日頃習うことのできない専門的な事柄を直接教えていただき、子どもたちもクラブを楽しみにしていました。

1年間本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。



※囲碁・将棋クラブ



※バドミントンクラブ

「ひろせ五・七・五」

- ・ ゆきだるま ばけつのぼうし 一年 小畑 あんな
- ・ たのしいな ぼくはなかにわ 一年 杉本 じん
- ・ ゆきだるま はるになるとき 一年 江口 はな
- ・ てつぼうは くるんとまわる 二年 古川 みなみ
- ・ おとうとが おねつがでたよ 二年 吉田 たまき
- ・ しゅくだいは たいへんだけど 三年 信岡 正き
- ・ あいさつで あいてのひとも 四年 小川 まさや
- ・ 葉のうらに かくれていたよ 四年 寺本 風花
- ・ お母さん たんじょうびだね 四年 川田 浩輝
- ・ たんぼぼが 川原のすみで 五年 花本 若奈
- ・ えりもとに たんぼぼの種 六年 井上 沙織